後期基本計画(令和4年度~8年度)

(基本テーマ) みんなでつくる まち・ひと・きぼう 次の時代へ続く留萌

潜在的な地域の価値と 強みの発揮

- ●都市圏からのUIJターンや、越境学生の受け入 れに向けた住環境を支援します。
- ●がんばる地元企業の創業支援や、事業が維持・継 続できるよう、また、引き継げるよう支援します。
- ●留萌への企業進出を応援するため、ニーズに沿っ た柔軟な支援メニューや、地元企業とのマッチン グにより管内にある未利用資源を生かした商品開 発を支援します。
- ●スマート農業の推進や、企業や大学と連携した水産 資源を育て、付加価値の高い魚種づくりを進めます。
- ●道の駅るもいを核とした新たな観光グランドデザ インを描き、拠点にアウトドア観光を進めます。
- ●関係・交流人口を増やすため、ふるさと納税の取 り組みの強化や、民間企業との「包括連携協定」 を進めます。

子ども達の夢を後押しする 教育の充実

- G I G A スクール構想を進め、タブレットなどの ICT端末を使った教育環境の充実を進めます。
- ●地元高校の教育環境を高 めるため、ICTなど 最先端のテクノロジー を使った教育教材を取り 入れます。



- ●スポーツを応援する企業 や、プロチームと連携 し、地域で指導者として 活躍する人材の招へい
- や、スポーツ競技力を高める環境をつくります。
- ●中学校と高校が連携し、教員や生徒同士の交流を 積極的に進めます。

今後の政策展開で重視する4つの視点

- 新型コロナウイルス感染 症に対応した、重点医療 機関として、患者の受入 れや検査体制を整備しま
- ●感染対策を考えた避難所の見直しや、必要な防災 資機材を整備し、女性の目線での防災対策を進め
- J R 留萌駅周辺地区を中心に、コンパクトで賑わい を生むまちづくりを目指し、社会教育機能なども 兼ね備えた「新たな公共施設」の整備の検討と合 わせ、便利で快適な交通環境の整備を検討します。
- ●最も適した交通体系の構築と、公共交通事業者の 持続可能な運営を目指します。
 - 安心で安定した 暮らしの実現と社会基盤づくり

- ●「脱炭素社会の実現」に向けて、再生可能エネル ギーなど新たなエネルギーの導入を研究します。
- ●留萌地域にあった、エネルギー導入の可能性や、 留萌沖への洋上風力発電誘致を進めます。
- ●市役所の手続きをオンライン化し、テレワークの など地域社会全体でのデジタル化を実現します。
- I C TやA I、I o Tなどの先端技術による行政 サービスの導入を進めます。
- ●キャッシュレスの推進や市 民向けスマートフォン教室 の開催など、デジタル化を 進めます。



社会変革への挑戦

後期基本計画では、新たにSDGSの視点を取り入れる こととし、各基本施策が、SDGSのどの目標に結びつい ているのかを、視覚的にわかりやすく見える化します。





第6次留萌市 後期基本計画 策定について

第6次留萌市総合計画の後期基本計画(令和4年度~8年度) を策定しましたので、お知らせします。

問 市・政策調整課 11 42-1809

前期基本計画が終了、後期基本計画へ

■第6次留萌市総合計画の構成と期間

基本構想 (平成 29 年度~令和 8 年度)	・総合計画の最上位に位置するものであり、「テーマ」「理念」 「基本政策」というかたちで、市民が描く都市像=今後進 めるべき市政の課題と解決の方向性を示しています。
基本計画 (前期5年間、後期5年間)	・基本構想で描かれた都市像の実現に向けて、市役所の基本 戦略=課題の解決に向けての分野別の処方箋となります。 ・分野別の成果指標と目標を設定しています。
実施計画 (3年計画を毎年度策定)	・基本計画に沿って、具体的に市役所の仕事を展開する年度ごとのアクションプランです。・毎年度の予算編成、人員配置と連動し、評価を受け、翌年度の内容を見直します。

◎後期基本計画の見直しに向けた方針決定(5月)

◎第1常任委員会説明(5月、9月、11月、1月)

◎後期基本計画策定各課依頼、素案作成、パブリック コメント募集 (8~11月)

◎市民策定会議との意見交換、まちづくり懇談会 (8月~1月)

◎議会全員協議会(11月、12月)

◎後期基本計画完成(1月)

▼後期基本計画の策定にあたり、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、市政運営 の中で顕在化した新たな課題に対応しながら、地域が持つ潜在的な価値や優位性を再認識 した上で、強みを発揮するための新たな政策展開や、地域に住む子ども達の夢を後押しす る教育の充実、将来に向けた社会・生活基盤づくり、安心で安定した暮らしの実現、さら には、脱炭素やデジタル・トランスフォーメーションといった社会変革への対応など、左 記の4つを重視する視点に位置づけ、新たに今後5年間で政策展開する内容を明確化し ています。また、新たに総合計画にSDGSの視点を盛り込み、目標と政策展開との関係 性についても可視化することとしています。